

R7 ティーaching・ポートフォリオ

山村学園短期大学 子ども学科

教授 伊藤えつ子

1 教育の責任

令和7年度の担当科目

科目名	学期	対象学年	種別	受講者数	備考
子ども学演習Ⅰ	前期	1年	演習	23名	2組
キャリアアップ セミナーⅠ	前期	1年	演習	23名	2組
保育内容健康	前期	1年	演習	47名	1・2組
幼児体育	前期	1年	演習	46名	1・2組
保育内容表現の 指導法	前期	2年	演習	57名	1・2・3・4組
子ども学演習Ⅱ	後期	1年	演習	23名	2組
キャリアアップ セミナーⅡ	後期	1年	演習	23名	2組
子ども学ゼミナ ールⅡ	後期	2年	演習		1・2・3・4組
保育内容健康の 指導法	後期	1年	演習	47名	1・2組
保育内容表現	後期	1年	演習	47名	1・2組
子ども学文化演 習B	後期	2年	演習		1・2・3・4組
ダンスムーブメ ント	後期	1・2年	演習		1・2・3・4組

○授業の充実

【知識・技能】

主に教科書を使用して、重要個所をわかりやすく説明する。

見やすくわかりやすい資料を作成する。

提出用課題による知識の定着を図る。

技能が定着するよう繰り返し行える授業にする。

【思考・判断・表現】

獲得した知識・技能を総合的に活用し、アクティブラーニング、グループワーク、プレゼンテーションに取り組む。

グループ活動では、自ら考え意見を発表し、他者の意見を尊重し、そこから学ぶ授業にする。
提出用課題に自己の考えや他者の意見を判断して記入し、記録から振り返れるようにする。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

自分から学びを深めようとしているかを見て取り、促す。

他者とともに学ぼうとしているかを見て取り、促す。

獲得した基本的な生活習慣をより洗練されたものにして社会人として活躍できるよう意識を高める。

○研究活動の推進

- ・ 幼児の体力・運動能力の現状把握と対策
- ・ 学生の身体表現力の向上に向けた文献研究

○地域貢献活動

- ・ 川島町総合型スポーツクラブ主催「ダンス教室」
- ・ 教育公務員弘済会教育振興事業選考委員

2 教育の理念

建学の精神（質実・英知・愛敬）に基づき、保育士として必要な知識と技能を確実に身に付ける。また、現場に出たときに自ら考えて行動し判断し適切な表方法を使って表現できるようにする。さらに、同僚や保護者、地域の方々と適切なコミュニケーションをとり、連携して質の高い保育を提供できるよう資質の向上を図る。

そこで、学生一人一人をよく見て、つまずきや悩みに寄り添い、適時適切な支援により問題解決を図り、資質向上につなげる。

3 教育の方法

- 効果的な資料提示を行う。
- アクティブラーニングを取り入れる。
- 予習、復習の指示を明確にする。
- 提出課題を速やかに返却し、思考・判断の機会を増やす。

（1）子ども学演習Ⅰ

【ねらい】

体験学習、保育体験、行事等に関する事前学習・準備、クラスゼミ学習等を通して保育者としての学びの意欲を高め、社会人・職業人としての使命感や自立心を涵養する。

【到達目標】

- ①幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し、理解している。
- ②保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。
- ③園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担ったりすることができる。
- ④基本的な生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感を身につけている。

（2）キャリアアップセミナーⅠ

【ねらい】

1 人ひとりに興味関心、進路に即したキャリアアップテーマや学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け、保育者としての自覚を高めキャリアアップを図る。

【到達目標】

- ①保育者に必要とされる知識・技術、マナーを定着させる。共感性や協働性などを端人関係の適切な場面で発揮できる。
- ②保育者・社会人として必要とされる態度、マナー、対人関係コミュニケーション力等の資質・能力の向上を図る。

(3) 保育内容健康

【ねらい】

領域「健康」の指導の基盤となる、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うための専門的事項について、知識を技能を身に付けることができる。

【到達目標】

- ①乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。
- ②乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。
- ③安全な生活と怪我や病気の予防を理解する。
- ④乳幼児期の運動発達の特徴を意義を理解する。

(4) 幼児体育

【ねらい】

乳幼児の運動あそびや身体表現についての専門的知識・技能を身につける。また、保育者は人的環境となることを意識し、自身の身体性・表現力・コミュニケーション能力を向上をさせる。

【到達目標】

- ①運動あそび・身体表現の意義について説明することができる。
- ②対象に合わせた指導や援助について考え実践できる。
- ③安全管理等について適切な配慮ができる。
- ④積極的に身体を動かし身体性を向上させる。
- ⑤積極的に他者と関わり表現力・コミュニケーション能力を向上させる。

(5) 保育内容表現の指導法

【ねらい】

乳幼児の運動あそびや身体表現についての専門的知識・技能を身につける。また、保育者は人的環境となることを意識し、自身の身体性・表現力・コミュニケーション能力を向上をさせる。

【到達目標】

- ①運動あそび・身体表現の意義について説明することができる。
- ②対象に合わせた指導や援助について考え実践できる。
- ③安全管理等について適切な配慮ができる。
- ④積極的に身体を動かし身体性を向上させる。
- ⑤積極的に他者と関わり表現力・コミュニケーション能力を向上させる。

(6) 子ども学演習Ⅱ

【ねらい】

体験学習、保育体験、行事等に関する事前学習・準備、グループ別学習等を通して保育者としての

学びの意欲を高め、社会人・職業人としての使命感や自立心を涵養する。特にグループ別学習においては、各自の保育者としての資質向上を目指した体験的な活動に取り組む。

【到達目標】

- ①幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し理解している。
- ②保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。
- ③園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担うことができる。
- ④基本的生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感等を身につけている。

(7) キャリアアップセミナーⅡ

【ねらい】

一人ひとりに興味関心、進路に即したキャリアアップテーマや学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。

【到達目標】

保育者に必要とされる知識・技術、マナーを定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。

保育者・社会人として必要とされる態度、マナー、対人関係コミュニケーション力等の資質・能力の向上を図ることができる。

(8) 子ども学ゼミナールⅡ

【ねらい】

乳幼児の運動あそびや身体表現についての専門的知識・技能を身につける。また、保育者は人的環境となることを意識し、自身の身体性・表現力・コミュニケーション能力を向上させる。

【到達目標】

- ①運動あそび・身体表現の意義について説明することができる。
- ②対象に合わせた指導や援助について考え実践できる。
- ③安全管理等について適切な配慮ができる。
- ④積極的に身体を動かし身体性を向上させる。
- ⑤積極的に他者と関わり表現力・コミュニケーション能力を向上させる。

(9) 保育内容健康の指導法

【ねらい】

領域「健康」における指導法の実際を学び、自らの保育実践への具体的な計画、実践、評価を専門的に構想する力を身に付けます。

【到達目標】

- ①幼児教育および乳児保育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらいおよび内容を理解し、概説できる。
- ②乳幼児期の発達や学びの過程を理解し、「健康」にかかわる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけることが出来る。
- ③健康に関する素材や教材についての特性を理解し、主体的に活用することが出来る。

(10) 保育内容表現

【ねらい】

乳幼児の生活や遊びの中にある表現やその意義について理解する。また表現全般について広く体験

的に学びながら自身の感性を磨くことによって、乳幼児の感性や創造性を引き出す構想力、知識、技能、表現力を身につける。

【到達目標】

- ①領域「表現」の概要を理解する。
- ②乳幼児の心性を理解し表現を受容的に受け止める視点を身につける。
- ③自身の感性や表現力を磨く。
- ④他者とのコミュニケーションとして表現を楽しむことができる。
- ⑤基礎的な表現技術や身近な素材を生かした表現活動を構想することができる。

(1 1) 子ども文化演習 B

【ねらい】

子どもたちが鑑賞する事を目的とした作品の創作・実演を通して、表現についての具体的な知識・技能・身体知を身につけること、体験過程を通して自身の思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、創造性、コミュニケーション能力等の実態に気づき、それらの能力を活かしたり向上させることをねらいとする。

【到達目標】

- ①子どもの感性や総合的な表現の意義を理解する。
- ②自身の表現力・表現技術を身につける。
- ③演出法・制作技術・各種効果等について具体的な方法を身につける。
- ④仲間との協働の重要性を理解し粘り強く取り組むことができる。
- ⑤具体的な役割や計画のもとにプロジェクトを遂行できる。

(1 2) ダンスムーブメント

【ねらい】

ダンスに関する知識・専門的な技術・表現方法を学び、身体性と表現力を向上させ保育者としての資質を高めることをねらいとする。

【到達目標】

- ①身体表現や音楽等についての文化的教養を身につける。
- ②自身の表現経験を積み重ね、子どもたちとの表現活動に対する身体知・応用力を身につける。
- ③身体性と表現力、コミュニケーション力を向上させる。

4 教育の成果、評価

令和5年度前期定期試験前に学生に対して授業アンケート（E d u N a v i）を実施。

問1 ・欠席または遅刻・早退をせずに受けましたか。

- ・私語を慎んで授業を受けましたか。
- ・授業の要点を配布プリント等にとっていましたか。
- ・シラバスは授業内容や評価の基準等を知る上で役に立ちましたか。
- ・予習・復習及び技術向上のための努力をして授業に臨んでいましたか。

問2 ・授業内容は、シラバスに示されていた学習目標と合致していましたか。

- ・授業内容のレベルは適切でしたか。
- ・授業の進度（速さ）は適切でしたか。

- ・この授業を通じて知識が深まった、能力が高まったと感じますか。

問3 ・教員の話し方は明瞭で聞き取りかったですか。

- ・授業の説明の仕方はわかりやすいものでしたか。
- ・授業中の板書やプロジェクター（パワーポイント等）の利用は適切でしたか。
- ・教材や資料はよく準備され、うまく活用されていましたか。
- ・教員は学生の質問に適切に対応し回答していましたか。
- ・学生の理解を深めよう、能力を高めようとする工夫や努力が感じられましたか。

問4 ・全体的に見て、この授業に対するあなたの評価はどの程度ですか。

問5 ・授業の感想を自由に述べてください。

（1）子ども学演習Ⅰ

5. 0（満点）

問1 平均 4. 4 問2 平均 4. 4 問3 平均 4. 5

問4 平均 4. 5

問5 自由記述

【よい点】

- ・子ども学演習を経て協調性などを身につけることが出来た。
- ・保育士になるためのスキルを身につけることが出来た。
- ・色々な講師の人の話などを聞いて自分の人生経験の糧になった。
- ・ボランティアに向けての準備をすることができた。
- ・毎回楽しかった。
- ・ナチュラル保育検定は、興味深い学習内容だった。
- ・実習での注意点や、常識として覚えておくべき事項などを学ぶことが出来て、非常に役に立つ情報を得られた。
- ・クラスの時間が楽しかった。

【改善してほしい、要望】

- ・細かい説明が少なく内容が理解できなかった。
- ・これからも外部の先生を招いて、講演会や、保育園の園長先生などの講演会もやってほしい。
- ・実践的な事はまだまだ難しく感じた。

（2）キャリアアップセミナーⅡ

5. 0（満点）

問1 平均 4. 5 問2 平均 4. 5 問3 平均 4. 5

問4 平均 4. 4

問5 自由記述

【良い点】

- ・外部講師などが来て保育以外の知識も学べたのでよかった。
- ・キャリアアップセミナーを通して社会性高められた。
- ・ホスピタリティの講義が心に1番残った。今後の人生に活かしたい。

【改善してほしい点、要望】

- ・教室が明るくてスライドが少し見づらいことがあった。

- ・欲しい説明が少なかった。

(3) 保育内容健康

5. 0 (満点)

問1 平均 4. 2 問2 平均 3. 8 問3 平均 3. 8

問4 平均 3. 7

問5 自由記述

【よい点】

- ・すごく楽しかった。
- ・授業は丁寧に説明されておりわかりやすく受けられた。
- ・こどもの健康について理解できた。
- ・5領域の授業内容なので、ほかの科目と連携しているところがいくつも見受けられてより学びが深まったと感じた。
- ・授業内で紹介した「保育内容健康あなたならどうしますか？(萌文書林)」の書籍方が教科書よりわかりやすかった。
- ・大切なポイントをたくさん教えてもらえた。
- ・グループワークが毎時間ある為自分の考えを伝える力が身につくことがよかった。
- ・この授業で子どもの発達の内容や安全、生活リズムの重要性など詳しく学ぶことが出来た。
- ・生徒の質問にちゃんと先生が対応していていいと思った。
- ・話し合いをする場面が多く他の人の意見や考えが聞けて楽しく、自分では考えられない思いつけない意見があり、新しい発見や成長に繋がった。
- ・毎回まとめがあり、少しずつ頭に入った。
- ・子どもへの対応から自分の生活を見直そうと思う授業だったので楽しかった。
- ・健康についての知識を学び、保育者として配慮すべきことが参考になった。
- ・提出するプリントの項目が分かりやすく、書きやすかった。
- ・席替えが定期的に行われ、多くの人の意見を知ることができるのも良いと思った。
- ・子どもの健康を維持するための知識を知り、大切な授業だと思った。
- ・授業内容がとても分かりやすく理解する事が出来た。今まで分からなかったことも学べた。
- ・重要な用語の説明がされていて良かった。

【改善してほしい点、要望】

- ・授業内容と教科書の内容が少し離れていて、どう捉えれば良いのか非常に迷った。
- ・授業中に提出物が出せるような時間配分をしてほしい。
- ・授業の進みが早く、プリントに記入が追いつかないときがあった。
- ・パワーポイントの印刷とスライドが一致していないことが多く、ノートをとる際や、資料を見ながら書くレポートを作る際に不便に感じるがあった。
- ・たまに教員の声が小さくなった。
- ・復習プリントやスライドを見返せられたらより理解が深まる。
- ・授業の内容で、特に大事という部分をもっとわかりやすく伝えてほしい。

(4) 幼児体育

5. 0 (満点)

問1 平均 4.5 問2 平均 4.2 問3 3.9

問4 全体 平均 4.1

自由記述

【良い点】

- ・毎回先生の動きや学生たちで考えて行動したり、手遊びだったりとても楽しかった。
- ・授業を通して、体を動かす楽しさに気づき、子どもの視点から見た体育を学ぶことができた。
- ・身体の動かし方、基本的な事の確認ができた。
- ・まさしく遊びながら学ぶで楽しみながら取り組めた。
- ・実際に保育者になったときに使えるような遊び、体育を学べた。
- ・自分で考えて表現する力など前に立って何かをする経験などを身につけることが出来た。
- ・プレイルームの所で最初のリズム運動がとても楽しかった。
- ・教員のアドバイスが的確だったので、毎授業なるほどと納得した。幼児体育は特に力を入れて教育したいと思っているので、しっかり学べて良かった。
- ・先生の奇想天外な動きはとても面白くって良かった。
- ・あまり体を動かさなくなっていたのでこの授業で体を動かせて良かった。
- ・先生役をやる授業で、1回終わる事にコメントを言ってくれて助かった。
- ・指導案を元にペアで活動をする時間では実際に行い今後に活かそうで良いと思った。
- ・実際に模擬授業をやる授業があったりして改善点をお互いに伝え合う時間があって次に繋がる授業で良かった。
- ・指導案の作成で実際に指導をする難しさを体験し、改善点が多くあることを学んだ。
- ・指導案の書き方など、わかりやすく書かれている。
- ・指導案の授業で、何が良くて何が足りなかったのかをわかりやすく説明してくれとても参考になった。また、フラフープや縄にしても、こんな使い方もあるんだよと様々な用具の使い方を知れて良かった。
- ・幼児がどんな運動を行うか自分たちで指導案を考えて、改善点が沢山出てきたのでとても勉強になった。
- ・ホワイトボードを使った授業や評価シートで見返しができるようになっていて振り返りがしやすかった。

【改善してほしい点・要望】

- ・指導案の作り方をもっと指導してほしい。
- ・幼児体育で、マットや鉄棒など大変だった。
- ・体育館では、声が通りにくく、先生の良いアドバイスが聞こえなかった。
- ・初めての指導案発表で、指摘ばかりだとやる気がなくなり、次につながらないと思う。
- ・20分で発表の予定を、予告なく10分で切られてしまった日もあり、事前に説明すべきだと思う。

(5) 保育内容表現の指導法

5.0 (満点)

問1 平均 4.4 問2 平均 4.5 問3 平均 4.5

問4 全体 4.4

問5 自由記述

【良い点】

- ・グループのみんなと一つの作品を作るためにたくさん協力したこともあり達成感を感じた。
- ・楽しみながら授業を受けることが出来、また能力がとても上がった。
- ・劇の発表がスムーズにできた。
- ・1人で考えたり、チームで動いたりと様々な活動がありとても楽しかった。現場に出る時の役にぜひ立てたい。
- ・楽しかった。
- ・音・図・体それぞれのワークショップとミニ発表の体験はとても楽しく、良い学びになった。
- ・みんなの発表を見ることを通して、多様な表現活動の可能性を感じられた。

【改善してほしい点・要望】

- ・得意不得意が現れる教科だと思うので難しく感じた
- ・最後の発表は、グループでの協働がうまくいかず、思うような発表ができなかったことが残念でした。

5 教育の改善に向けた今後の目標

(1) 子ども学演習Ⅰ

短期的目標	○講義はよく傾聴していたが、思考力・判断力・表現力を高めるため話し合いの時間を取ったり、振り返りの時間を設けたりする必要がある ○保育体験は、実習の授業と連動させてより効果をあげる必要がある。
長期的目標	○年間計画をより具体的に学生に提示する必要がある。 ○授業を通しての達成感とともに、自身の努力の成果を実感できるようにしていく必要がある。

(2) キャリアアップセミナーⅠ

短期的目標	○高い評価だったが、提出物についてはメモしたり、それを整理したりという力をつける必要がある。 ○次年度の就職活動につながるように必要な知識や最新の情報を提供する必要がある。 ○履歴書指導は自分を見つめなおす機会であり、長所や短所に気付かせ積極的にアピールできるよう指導する必要がある。
長期的目標	○就職活動に関する指導については、希望職種に応じた予定に基づき、学生が見通しをもって活動できるよう支援していく。 ○授業を通して獲得できる力、能力を明確に示し、学生自身がしっかり振り返る時間を確保し、授業を通しての達成感とともに、自身の努力の成果を実感できるようにしていく。

(3) 保育内容健康

短期的目標	○資料提示について、スライドと印刷物を整理して配布するようにする。 ○教科書を活用して必要に応じて音読させ、重要個所にアンダーラインを引くなどの指示をする。
-------	---

	○提出用課題の記入の時間をとる。 ○授業の前後にスライドを EduNavi に挙げ、予習及び復習させる。 ○マイクを使い、随時聞き取れているか確認する。
長期的目標	○子どもの健康や安全の指導の大切さを明かりやすく説明し、実際の保育に役立つような授業にする必要がある。

(4) 幼児体育

短期的目標	○教員が積極的に運動の手本を見せてイメージさせる必要がある。 ○模擬授業のニーズが高いので、時間を取り詳しく説明する必要がある。 ○振り返りの課題提出は学びを深めることに役立っているので継続する必要がある。 ○体育館を使用する際にはマイクを使用する必要がある。
長期的目標	・より子どもの体力を向上させる運動遊びや、楽しめる運動遊び、発達段階に応じた運動遊びなど研究し、伝達する必要がある。

(5) 保育内容表現の指導法

短期的目標	○おおむね評価が高かったので、各分野別の指導と総合的な表現活動をより連動するように指導する必要がある。
長期的目標	○他学の状況や実践報告などを踏まえより学びの多い授業になるようにする。

6 その他

なし